

あいちの水循環再生指標現地調査票

調査団体名	寒狭川下漁業協同組合	調査地点	宇連川 (長篠城址下) 付近 目印となる橋や建物
調査日	21年 6月 4日 (木)	調査参加人数	5人
調査時間	午前9時30分	天候	晴れ・(曇)・雨

評価項目	調査項目	調査方法	調査項目ごとの評点					評点
			5	4	3	2	1	
水質			安全できれいな水				利用しにくい水	
水質	水の汚れ (COD)	バックテスト	2 mg/l					5
			(2mg/l以下)	3mg/l以下	5mg/l以下	8mg/l以下	8mg/l超	
	水の色	五感	無色	(中間)	(少し色がある)	(中間)	濃い色がついている	3
	濁り	五感	透明	(中間)	少し濁っている	(中間)	大変濁っている	4
	におい	五感	心地よい	(感じない)	においは感じるが不快ではない	(中間)	いやなにおいを強く感じる	4
	泡、油膜	五感	(泡はない) (油膜はない)	(中間)	少ない	(中間)	多い	5
	水底の感触	五感	心地よい	(中間)	刈刈するが不快ではない	(中間)	刈刈して不快	4
<水質>平均点							4	
水量			十分な流れがある		流れがある		流れがほとんどない	
水量	水深 (最大)	測定	50 cm					4
			60cm以上	40cm以上60cm未満	20cm以上40cm未満	10cm以上20cm未満	10cm未満	
	水の流れの変化	五感 (目視)	瀬・淵・ワンドなど多様な流れがある	(中間)	流れに変化がある	(中間)	(流れが単調である)	1
	流速	測定	30 cm					3
			60cm/秒以上	40cm/秒以上60cm/秒未満	20cm/秒以上40cm/秒未満	10cm/秒以上20cm/秒未満	10cm/秒未満	
	流速	五感 (目視)	水面が波立つほど流れがある	(中間)	(水面は穏やかだがはっきり流れているとわかる)	(中間)	流れがほとんどない	3
※1 湧水	五感 (目視)	以前と変わらない水量の湧水がある	(中間)	以前より若干水量が減った感じがするがはっきりと湧水が確認できる	(中間)	湧水がなくなった		
<水量>平均点							3	
生態系			生物が豊かな水環境		生物が生き生きできる水環境		生物が生きにくい水環境	
生態系	水質階級	水生生物	(I)	II	III	IV	何もいない	5
	魚	五感 (目視)	(魚が多い)	(中間)	たまに魚の姿を見かける	(中間)	魚の姿はない	5
	水際の植生 (水草・ヨシ)	五感 (目視)	水際にいるいるな種類の水草が多く生えている (比較的単調)	水際に水草が多く生えている (比較的単調)	水際に水草が少し生えている	水際に植物はほとんどない	水際に植物はない	5
	水辺周辺の植生 (堤防、高水敷など)	五感 (目視)	(荒れた樹林地がある)	樹林地、草地がある	緑がある	緑はほとんどない	緑はない	5
	周辺の生きもの (鳥、昆虫など)	五感 (目視)	いろいろな種類の生きものが多くいる	(生きものが多くいる)	たまに生きものの姿を見かける	(中間)	生きものの姿はない	4
	外来種	五感 (目視)	(外来種は見あたらない)	外来種は少ない	外来種が比較的多い	外来種が多い	外来種のみしかない	5
	<生態系>平均点							5
水辺			快適な水辺積極的に活用したい水辺		水辺を活用できる程度		不快な水辺	
水辺	透視度	簡易計測器	100 cm					5
			80cm以上	60cm以上80cm未満	40cm以上60cm未満	20cm以上40cm未満	20cm未満	
	ごみ	五感	ごみは見あたらない	(中間)	ごみは気にならない程度	(中間)	ごみが多く不快	4
	水辺を利用したいか (親しみ)	五感	水のまわりや中で遊びたい	(水に触れてみたい)	眺めたり、散歩したい	あまり近づきたくない	近づきたくない	4
	水辺への近づきやすさ	五感	どこからでも水辺へ近づける	(中間)	(水辺に近づけるところがある)	管理が悪くて水辺に近づけない	護岸等で水辺に近づけない	3
	※3 水辺の自然度	五感	(水辺の自然は豊かである)	(中間)	水辺に緑がある	(中間)	人工的な水辺	5
	水辺景観 (心地よさ)	五感	(水辺と周辺の風景とが調和しており心地よい)	(中間)	一部場にそぐわない面も感じるが、全体としては風景と調和している	(中間)	水辺と周辺の風景とが調和せず、違和感を感じる	5
	水辺の活動	①~③	利用度：大	(中間)	利用度：中	(中間)	利用度：小	
	①散歩・レジャー	ヒアリング	多くの人に毎日のように利用されている	(中間)	(時々利用されている)	(中間)	ほとんど利用されていない	3
	②環境学習	ヒアリング	多くの人に利用されている	(中間)	時々利用されている	(中間)	(ほとんど利用されていない)	1
③環境保全活動	ヒアリング	多くの人が活動している	(中間)	定期的に活動している人がいる	(中間)	(ほとんど活動がない)	1	
<水辺>平均点							3	
選択項目 (COD)	※特に重要と考える調査項目を上記から選択する						点数	5
備考	※気付いたことがあれば、記入してください。							

注) 水量の評点は、河川の源流域、河口部などや、湖沼、ため池、海では使用しない。

評価の判断基準にある「中間」は、その前後で判断に迷う場合に採用し、その評点を記入する。

※1は、湧水が過去に確認されている場合にのみ使用。

※2と※3は、相反する評価となる可能性がある。

あいちの水循環再生指標現地調査票

調査団体名	寒狭川下漁業協同組合	調査地点	豊川(寒狭川) (サイクリングターミナル) 付近 目印となる橋や建物
調査日	21年 6月 4日(木)	調査参加人数	4人
調査時間	午前11時00分	天候	晴れ・(雲)・雨

評価項目	調査項目	調査方法	調査項目ごとの評点					評点
			5	4	3	2	1	
水質			安全できれいな水				利用しにくい水	
水質	水の汚れ(COD)	バックテスト	2 mg/l					5
			(2mg/l以下)	3mg/l以下	5mg/l以下	8mg/l以下	8mg/l超	
	水の色	五感	無色	(中間)	少し色がある	(中間)	濃い色がついている	5
	濁り	五感	透明	(中間)	少し濁っている	(中間)	大変濁っている	5
	におい	五感	心地よい	感じない	においは感じるが不快ではない	(中間)	いやなおいを強く感じる	4
	泡、油膜	五感	泡はない 油膜はない	(中間)	少ない	(中間)	多い	5
	水底の感触	五感	心地よい	(中間)	刈刈するが不快ではない	(中間)	刈刈して不快	5
<水質>平均点							5	
水量			十分な流れがある		流れがある		流れがほとんどない	
水量	水深(最大)	測定	100 cm					5
			60cm以上	40cm以上60cm未満	20cm以上40cm未満	10cm以上20cm未満	10cm未満	
	水の流れの変化	五感(目視)	瀬・淵・ワンドなど多様な流れがある	(中間)	流れに変化がある	(中間)	流れが単調である	2
	流速	測定	30 cm					3
			60cm/秒以上	40cm/秒以上 60cm/秒未満	20cm/秒以上 40cm/秒未満	10cm/秒以上 20cm/秒未満	10cm/秒未満	
	流速	五感(目視)	水面が波立つほど流れがある	(中間)	水面は穏やかだがはっきり流れているとわかる	(中間)	流れがほとんどない	3
※1 湧水	五感(目視)	以前と変わらない水量の湧水がある	(中間)	以前より若干水量が減った感じがするがはっきりと湧水が確認できる	(中間)	湧水がなくなった		
<水量>平均点							3	
生態系			生物が豊かな水環境		生物が生きやすい水環境		生物が生きにくい水環境	
生態系	水質階級	水生生物	I	II	III	IV	何もいない	4
	魚	五感(目視)	魚が多い	(中間)	たまに魚の姿を見かける	(中間)	魚の姿はない	5
	水際の植生(水草・ヨシ)	五感(目視)	水際にいるいるな種類の水草が多く生えている	水際に水草が多く生えている(比較的単調)	水際に水草が少し生えている	水際に植物はほとんどない	水際に植物はない	5
	水辺周辺の植生(堤防、高水敷など)	五感(目視)	荒れた樹林地がある	樹林地、草地がある	緑がある	緑はほとんどない	緑はない	5
	周辺の生きもの(鳥、昆虫など)	五感(目視)	いろいろな種類の生きものが多くいる	生きものが多くいる	たまに生きものの姿を見かける	(中間)	生きものの姿はない	4
	外来種	五感(目視)	外来種は見あたらない	外来種は少ない	外来種が比較的多い	外来種が多い	外来種のみしかいない	5
	<生態系>平均点							5
水辺			快適な水辺積極的に活用したい水辺		水辺を活用できる程度		不快な水辺	
水辺	透視度	簡易計測器	100 cm					5
			80cm以上	60cm以上80cm未満	40cm以上60cm未満	20cm以上40cm未満	20cm未満	
	ごみ	五感	ごみは見あたらない	(中間)	ごみは気にならない程度	(中間)	ごみが多く不快である	5
	水辺を利用したいか(親しみ)	五感	水のまわりや中で遊びたい	水に触れてみたい	眺めたり、散歩したい	あまり近づきたくない	近づきたくない	5
	水辺への近づきやすさ	五感	どこからでも水辺へ近づける	(中間)	水辺に近づけるところがある	管理が悪くて水辺に近づけない	護岸などで水辺に近づけない	5
	※3 水辺の自然度	五感	水辺の自然は豊かである	(中間)	水辺に緑がある	(中間)	人工的な水辺	5
	水辺景観(心地よさ)	五感	水辺と周辺の風景とが調和しており心地よい	(中間)	一部場にそぐわない面も感じるが、全体としては風景と調和している	(中間)	水辺と周辺の風景とが調和せず、違和感を感じる	5
	水辺の活動	①~③	利用度：大	(中間)	利用度：中	(中間)	利用度：小	
	①散歩・レジャー	ヒアリング	多くの人に毎日のように利用されている	(中間)	時々利用されている	(中間)	ほとんど利用されていない	3
	②環境学習	ヒアリング	多くの人に利用されている	(中間)	時々利用されている	(中間)	ほとんど利用されていない	1
③環境保全活動	ヒアリング	多くの人々が活動している	(中間)	定期的に活動している人がいる	(中間)	ほとんど活動がない	1	
<水辺>平均点							4	
選択項目 (COD)	※特に重要と考える調査項目を上記から選択する						点数	5
備考	※気付いたことがあれば、記入してください。							

注) 水量の評点は、河川の源流域、河口部などや、湖沼、ため池、海では使用しない。

評価の判断基準にある「中間」は、その前後で判断に迷う場合に採用し、その評点を記入する。

※1は、湧水が過去に確認されている場合にのみ使用。

※2と※3は、相反する評価となる可能性がある。

水循環再生指標モニタリング個票（調査集計表）

調査団体名		寒狭川下漁業協同組合				調査地点		宇連川			
調査日	H21.6.4										
調査時間	AM9:30										
参加人数	5人										
天候	曇										
評価項目	調査項目										
水質	水の汚れ (COD)	5									
	水の色	3									
	濁り	4									
	におい	4									
	泡、油膜	5									
	水底の感触	4									
	水質平均値	4									
水量	水深 (最大)	4									
	水の流れの変化	1									
	流速 (測定)	3									
	流速 (五感)	3									
	※1 湧水										
	水量平均値	3									
生態系	水質階級	5									
	魚	5									
	水際の植生 (水草・ヨシ)	5									
	水辺周辺の植生 (堤防、高水敷など)	5									
	周辺の生きもの (鳥、昆虫など)	4									
	外来種	5									
生態系平均値	5										
水辺	透視度	5									
	※2 ごみ	4									
	※2 水辺を利用したいか (親しみ)	4									
	※2 水辺への近づきやすさ	3									
	※3 水辺の自然度	5									
	水辺景観 (心地よさ)	5									
	①散歩・レジャー	3									
	②環境学習	1									
	③環境保全活動	1									
	水辺平均値	3									
選択項目 (COD)	5										
備考	気付いたことなど										

注) 水量の評点は、河川の源流域、河口部などや、湖沼、ため池、海では使用しない。  
 評価の判断基準にある「中間」は、その前後で判断に迷う場合に採用し、その評点を記入する。  
 ※1は、湧水が過去に確認されている場合にのみ使用。  
 ※2と※3は、相反する評価となる可能性がある。

水循環再生指標モニタリング個票（調査集計表）

調査団体名		寒狭川下漁業協同組合			調査地点		豊川（寒狭川）				
調査日	H21.6.4										
調査時間	AM11:00										
参加人数	4人										
天候	曇										
評価項目	調査項目										
水質	水の汚れ（COD）	5									
	水の色	5									
	濁り	5									
	におい	4									
	泡、油膜	5									
	水底の感触	5									
	水質平均値	5									
水量	水深（最大）	5									
	水の流れの変化	2									
	流速（測定）	3									
	流速（五感）	3									
	※1 湧水										
	水量平均値	3									
生態系	水質階級	4									
	魚	5									
	水際の植生（水草・ヨシ）	5									
	水辺周辺の植生（堤防、高水敷など）	5									
	周辺の生きもの（鳥、昆虫など）	4									
	外来種	5									
生態系平均値	5										
水辺	透視度	5									
	※2 ごみ	5									
	※2 水辺を利用したいか（親しみ）	5									
	※2 水辺への近づきやすさ	5									
	※3 水辺の自然度	5									
	水辺景観（心地よさ）	5									
	①散歩・レジャー	3									
	②環境学習	1									
	③環境保全活動	1									
	水辺平均値	4									
選択項目（COD）	5										
備考	気付いたことなど										

注) 水量の評点は、河川の源流域、河口部などや、湖沼、ため池、海では使用しない。  
 評価の判断基準にある「中間」は、その前後で判断に迷う場合に採用し、その評点を記入する。  
 ※1は、湧水が過去に確認されている場合にのみ使用。  
 ※2と※3は、相反する評価となる可能性がある。